

世界に発信！
健康都市
いちかわ

HEALTHY CITY ICHIKAWA

基礎データ

人口：46万人
面積：56km²
(東西8Km 南北13Km)
鉄道路線 7路線16駅
総乗降客 1日平均54万人

様々な顔

梨の栽培 (北部地区) 高層ビルからの都市風景
江戸川から眺める富士山 工業地域と行徳湾 (南部地区)

四季

春 里見公園の花見 花火大会 夏
冬 中山法華経寺 秋まつり 秋

春 里見公園の花見

春 弘法寺のしだれ桜

春

中山新能



夏

市民納涼花火大会



夏

「市川米っ人くらぶ」の田植え



夏



秋

秋まつり



秋

八幡まつり宮出し



秋 市民まつり

会場:大洲防災公園



まちづくりの基本理念

「人間尊重」「自然との共生」「協働による創造」

市川市の将来都市像を実現するための基本目標

「地域」をキーワードとした行政展開



推進プラン・・・10の目標118事業 ～ 体と心(32事業)・まち(36事業)～

体と心

- 食による健康づくり (13事業)**
 - (1) 「楽しい食を推進する」
 - (2) 「食の安全を推進する」
 - (3) 「正しい食習慣を普及する」
- 一人ひとりの健康づくり (19事業)**
 - (1) 「身近な運動習慣の推進」
 - (2) 「心の健康づくりの推進」
 - (3) 「健康管理・疾病予防の推進」

まち

- 楽しく歩ける道づくり (9事業)**
 - (1) 「安全に歩ける道」
 - (2) 「人にやさしい道」
 - (3) 「楽しい道」
- 水と緑の環境づくり (13事業)**
 - (1) 「水辺空間の整備」
 - (2) 「緑地保全と緑化の推進」
 - (3) 「自然環境の保全及び再生」
- 身近な環境活動 (14事業)**
 - (1) 「快適な生活環境の保全」
 - (2) 「健康学習を推進する」
 - (3) 「地域環境美化の促進」

推進プラン・・・10の目標118事業 ～ 社会(33事業)・文化(11事業)・その他(6事業)～

社会

- 暮らしの安全向上 (23事業)**
 - (1) 「災害に強い防災まちづくり」
 - (2) 「水害のないまちづくり」
 - (3) 「安全で安心な生活環境づくり」
- 地域ネットワークの拡大 (10事業)**
 - (1) 「地域で食える福祉の充実」
 - (2) 「地域で食える子育て環境づくり」

文化

- スポーツの振興 (11事業)**
 - (1) 「スポーツ環境の整備」
 - (2) 「スポーツに親しむ機会の提供」
 - (3) 「総合的推進体制の整備」

その他

- ITを活用した健康支援 (3事業)**
 - (1) 「健康づくりの推進」
 - (2) 「市民のIT活用推進」
- 市民活動の支援 (3事業)**
 - (1) 「活動のための支援環境づくり」



2、一人ひとりの健康づくり(市民マナー条例)

2、一人ひとりの健康づくり(いきいき健康教室)



3、楽しく歩ける道づくり(まちかどミュージアムマップ)



3、楽しく歩ける道づくり(行徳ふれあい周回路)



4、水と緑の環境づくり(旧江戸川スーパー堤防 イメージ)



4、水と緑の環境づくり(小川再生環境整備)



5、身近な環境活動(分別収集の推進)



5、身近な環境活動(通称 市民あま水条例)

6、暮らしの安全向上

防犯パトロールの推進

街の安全パトロール

鬼高自治会防犯パトロール隊

6、暮らしの安全向上(通称 防犯カメラ条例)

市川駅・行徳駅・南行徳駅周辺に
街頭防犯カメラ7台設置予定(9月中旬)

7、地域ネットワークの拡大(地域ケアシステム)

7、地域ネットワークの拡大

ファミリーサポートセンター

子育て支援センター

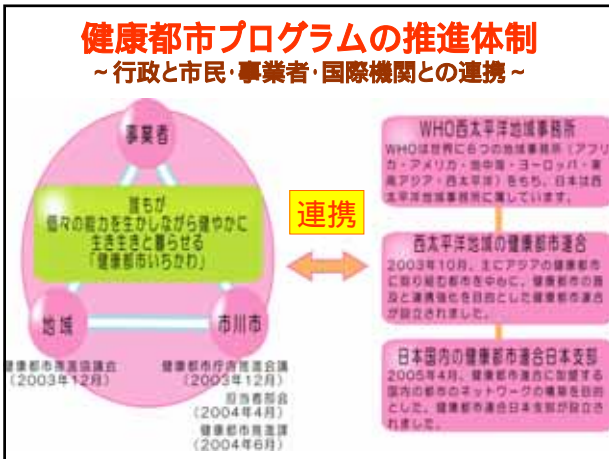
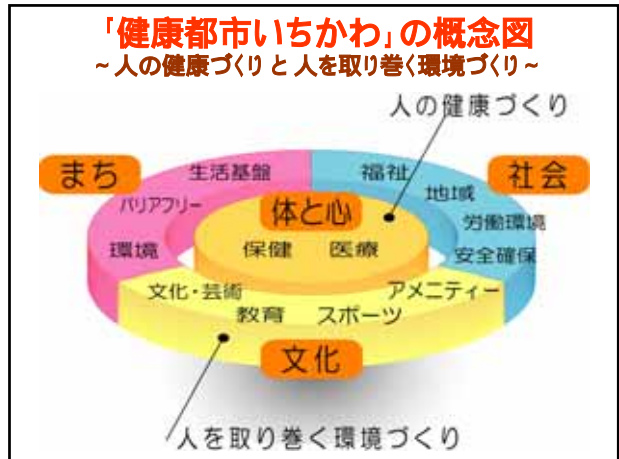
8、スポーツの振興(中国分スポーツ広場)

**WHO憲章の精神を尊重した
「健康都市いちかわ」宣言**

「すべての人々にとって、できる限り高い健康水準を享受することは基本的な権利である。」- 私たちは、このWHO(世界保健機関)憲章の精神を尊重し、誰もが個々の能力を生かしながら健やかに、生き生きと暮らせる「健康都市いちかわ」を目指すことを、ここに宣言します。

HEALTHY CITY ICHIKAWA DECLARATION
In Deference to the Constitution of the WHO

“The enjoyment of the highest attainable standard of health is one of the fundamental rights of every human being” - We pay due regard to the spirit of this Constitution of the World Health Organization (WHO), and we hereby declare that we will aim for “Healthy City Ichikawa”, a city where all people can be energetic, healthy, and live life to its fullest.



ヘルシースクールの取り組み

ヘルシースクールの推進母体として、ヘルシースクール推進協議会を設置

ヘルシースクール推進協議会

生活の中で、子どもたちが健康について自ら考え行動し、望ましいライフスタイルの確立を図るために、学校と家庭・地域が一体となって取り組む方を「健康教育の進め方」の研修を受講することで探る

- 包括的な健康教育推進のための推進母体
- 研修会の開催
- 市立幼稚園、小・中・養護学校での取り組み

学校(園)での位置づけ

			<メンバー>
学校評議委員会			校長・教頭・教務・養護教諭 保健士事・栄養士・生徒指導 体育担当・給食担当・学年 体育保健委員会児童・PTA 学校医・薬剤師
	校長	教頭	職員会議
			ヘルシースクール推進委員会
企画委員会			保健・給食・体力 生活習慣
校長・教頭・教務 事務長・副教務 学年主任			すこやか検診(小児生活習慣病検診) 市内公立小学校5年生・中学校1年生の 希望者を対象に生活習慣病予防検診を実施し、結果を通知し健康指導をする

重点目標

体力に関すること
 体育学習・休み時間を通じ、スポーツの魅力と価値を体感させ、自身の健康な体力づくりについての関心をもたせる。(1年間で運動好きな児童70%・75%・5%UP目標)

生活リズムに関すること
 生活習慣と健康についての関心を高め、自身の生活をより良いものとしていくために、生活リズム作りカードを作成。年間2回実施し、自分のライフスタイル(特に快便)を振り返る機会を設ける。

食育に関すること
 食事についての基本的な正しい食習慣を身につけるとともに、栄養について関心を高め理解を深める。給食だより・試食会(年間5回)・給食運営協議会を通して家庭との連携を図る。


安全・環境衛生に関すること
 日常生活の中にひそむ様々な危険に気づかせ、安全な生活の必要性や重要性の理解を深めながら、自主的に安全な行動ができる能力や態度を養う。(年3回の避難訓練)衛生面に配慮した校舎内の環境作りにも努める。(特にトイレ、教室内の換気)

世界における市川市の取り組み

1. WHO健康都市連合設立総会参加
(マレーシア クチン市)
2. WHO健康都市交流プログラム
(韓国の5つの市から視察団来市・視察)
3. WHO健康都市プロジェクト受賞事業
(マリキナ市交流事業)

WHO健康都市連合設立総会参加

- 日 時:平成16年10月12日(火)~14日(木)
- 場 所:マレーシア国サラワク州クチン市
- 参加団体:正会員 8カ国 20都市 準会員 4カ国 6団体
(日本・カンボジア・中国・マレーシア・モンゴル・フィリピン・韓国・ベトナム・オーストラリア)
- 日本の設立メンバー
 沖縄県平良市・愛知県尾張旭市
 静岡県袋井市・千葉県市川市


設立メンバーとして認められる



市川市の取り組み事例発表



取り組みをポスターセッションで展示



視察団の訪問を伝える新聞記事

韓国・済州から視察団



「ヘルスサポーターの会」を視察

ヘルスサポーターは、「健康21」について学び、取り組みの実践者となり、地域の人々に健康づくり運動を定着させる啓発活動の担い手となる



食生活改善推進員ヘルスサポーターの連携について説明

食生活推進員と共に活動し、「健康21」を地域に浸透させる実践者を増やすことを目指す



WHO健康都市プロジェクト賞受賞 (フィリピン国マリキナ市との共同受賞)



学校給食視察



食生活改善推進員活動

～料理一日講習会～



市民マナー条例
～研修・パトロール参加～



いきいき健康教室参加



アジア各国の健康都市の仲間たちとともに...



世界に発信!
健康都市
いちかわ

